



3学期スタート！！

1/8(木)より3学期がスタートしました。始業式では元気な笑顔で学園小学校の子どもたちが挨拶をしてくれました。

さて、3学期は「まとめ」と「準備」の学期です。この1年学んできたことを振り返りながら積み上げてきたこと、自分の成長を確認し、「頑張りました!」と区切りをつける「まとめ」。そして、次の学年では「〇〇してみたいな」や「〇〇ができるようになりたいな」、「〇〇という失敗はしないでおう」など、気持ちの「準備」を持ってもらう時期なのです。次につながる、つなげる気持ちをしっかりと持ってほしいです。

早速、1・2年生の教室にはこの3学期、この令和8年の意気込みが掲示されていました。内容を見ると「ろうかをはしらない」や「元気にすごす」、「字をきれいに書きたい」など身近なことを書いている子どもたちがたくさんいました。



写真は1年生の作品

そうなのです!この3学期の「まとめ」「準備」に必要なのは「当たり前のことを 当たり前にできる」目標が成長を1段階も2段階も上げていくことになるのです。

そのような簡単なこと…と思いがちですが「言うは易く行うは難し」です。目標を高く持ちすぎると気が抜けてしまうものです。「当たり前のことを 当たり前にできる」はちょっとハードルが低い気もしますが、「当たり前に…」というのは「特に考えずに気にせずできる」ことです。

右は5年生6年生の下駄箱の写真です。子どもたちは「靴はそろえなきゃ!!」と思っているのでしょうか?たぶん「何も考えず、当たり前にしている」だけだと思います。もちろん全員がそう思っているかどうかは分かりませんが、少なくとも「靴はそろえる」という「当たり前」が5・6年生の子どもたちの心の中に存在していると言えます。



私たちのまわりには、「当たり前」があふれています。

- 人に会ったら「あいさつ」(おはよう。こんにちは。さようなら。おやすみなさい。いただきます等)
- 時間を守る
- 忘れ物をしない
- 自分のことは自分でする
- ルールを守る などなど…

当たり前のことが当たり前に見えるようになれば、どんどん世界が広がります。

ですので、子どもたちに当たり前のことをできる「機会」を与えていただきたいと思

います。できなことを責めるのではなく、少しでも挑戦・再トライする機会を増やしていただき、「当たり前のことを 当たり前にできる」ようになってほしいと思います。



1. 17を忘れない集会

1/16(金)朝に1.17を忘れない集会を行いました。

1995年1月17日朝5時46分に発生したM7.3の大地震は一瞬で神戸の街を破壊し、6434名の命を奪いました。

子どもたちはもちろん保護者の中にも体験したことはない大災害のことをお話しさせていただきました。「命」の大切さ、自分で身を守ること等エピソードを交えながら話をしましたが、子どもたちはとても真剣に聞いてくれました。また多くの亡くなった方の命を次の災害時の防災・減災につないで「生かす」ために…と思いながら黙祷しましょうと伝えると、とても静かで引き締まった黙祷を子どもたち全員ですることができました。

その後、防災行動の〇×クイズを行い、最後に「しあわせ運べるように」を全員で斉唱しました。



13時20分。この時間は、昼休みが終わり、掃除を始める時間です。子どもたちは教室に戻っている途中であったり、掃除道具をもって掃除場所へ移動しているタイミングです。サイレンが学校中に響き渡りました。「訓練地震警報 緊急地震速報発令!すぐに地震が来ます。今すぐ体を守る行動をとりなさい!」という放送が流れると、子どもたちは机の下に入り、「サルのポーズ」をしてました。近くに机がない子どもたちはその場で「だんごむしのポーズ」を取っていました。一瞬で校内は静かになり、地震に備えました。

しばらくして、「揺れが収まりました。運動場に避難しましょう!」と放送が入り、それぞれが運動場に避難しました。避難するときの合言葉「お・は・し・も・ち(押さない。走らない。しゃべらない。もどらない。近づかない。)」をみんなはしっかりと実行していました。各クラスで整列して集合を確認。学園小学校の子どもたち全員が避難の放送から集合完了まで3分1秒かかりました。とってもスムーズに避難ができました。



まとめのお話で、2024年羽田空港で起こった自衛隊機への衝突事故のお話をしました。

乗員乗客379名が客室乗務員、機長等の指示に従い、すぐに脱出し、全員無事に飛行機から脱出した時の話です。全員が脱出してすぐに飛行機は炎上してしまう大惨事でしたが、客室乗務員の的確な指示だけでなく、乗客も落ち着いて「自分だけ!」と騒がず、スムーズに避難したことが、この奇跡につながったことをお話ししました。

地震の防災訓練、火災の避難訓練などをしっかりと行うことで、パニックにならず心に余裕を生み出します。日頃からの備え(準備)が大切ですとくりました。



みなさんのお家には避難バックなど「もしも…」の時の準備はされていますか?「天災は忘れた頃にやってくる」という言葉があるように、いつ起こるか分かりません。そう意味で1月17日は年に一度の避難備品、そして心の備え(準備)をしっかりと考える日ではないでしょうか。